

公立陶生病院

病院長名	味岡 正純
所在地	〒489-8642 愛知県瀬戸市西追分町 160 番地
交通案内	名鉄瀬戸線瀬戸市役所前駅下車、西へ徒歩約 3 分（東棟南玄関）/新瀬戸駅下車、東へ徒歩約 5 分（東棟西玄関）/愛知環状鉄道瀬戸市駅下車、東へ徒歩約 5 分（東棟西玄関）

□ 病院の特徴

(1) 当院は、1936 年10 月、地域住民の大きな期待を担って創立され、幾多の母体変遷を経て、1959 年6 月に瀬戸市、旭町、長久手町による一部事務組合立の病院となり、尾張東部地域の基幹病院としての役割を果たしている

(2) 名古屋東部に位置し、30 科を標榜、良質な地域完結型医療を実現する地域連携。地域基幹病院、救命センターとして 24 時間断らない救急をモットーに日々邁進し、高度で確実な救急医療の提供を目指す救急医療。「がん診療連携拠点病院」に指定され、質の高いがん医療の提供を目指し、地域に根差した公立病院ならではの親身なケアを心掛けたサポートのがん診療。感染症診療・感染制御に関連した専門資格を有するスタッフが院内だけでなく地域医療機関や行政と協働し感染制御活動を行い、平時から医療関連感染対策を実践し新興感染症にも対応する感染対策以上四つの強みを中心にさまざまな分野の専門家が協働して医療のサポートを実践している。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

公立陶生病院小児科

【研修目標】

幅広い研修を通じて、地域の未来を支える子どもたちの健康の増進と回復に貢献できる小児科医となる

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

1 年次～2 年次：当院にて、感染症や小児救急の初期対応、新生児医療などを中心に研修を行います。アレルギー、循環器、神経、腎臓などの疾患も研修し、慢性疾患児のフォローや在宅医療（訪問診療）も経験します。また、乳児健診や小児保健についても研修します。

3 年次：当院では十分に研修できない血液・腫瘍疾患や、専門性の高い領域について、連携施設である名古屋大学医学部附属病院あるいは名古屋市立大学病院で6 ヶ月間の研修を行うことができます。希望者には、あいち小児保健医療総合センターでの研修も選択可能としています。



□ 主な連携施設

あいち小児保健医療総合センター

名古屋市立大学病院

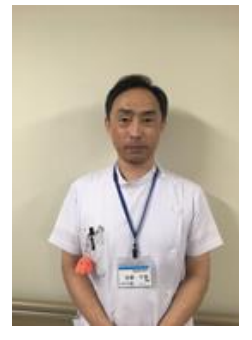
名古屋大学医学部附属病院

□ メッセージ

指導医：森下先生

当院小児科の特徴としては以下の点が挙げられます。

- ・地域の基幹病院として、プライマリケアから2次・3次医療、時には珍しい疾患まで幅広く経験できること
- ・地域周産期母子医療センターを擁し、超低出生体重児を含む新生児症例を経験できること
- ・地域の開業医・訪問看護ステーションと連携しながら、在宅医療、訪問診療を行っていること



- ・地域の乳幼児健診や予防接種を地域の開業医と協力しながら担っていること
- ・院内の風通しが良く、他科や他職種とスムーズに連携・協力しながら診療にあたっていること

これらを通じて、地域における小児科医の果たすべき役割を十分に経験し、小児科医の礎となる部分を学ぶことができます。地域の中で育っていく子ども達を見る（診る）ことは小児科医にとっての喜びであり楽しみですし、医師としての自分の成長や学びの新しい種をそこに見出すこともできます。

地域の未来を支える子どもたちのために、ともに学ぶ仲間を待っています。

□ 募集要項

・採用予定人数	3 人
・給与/月額	基本給：334,100 円/月 年額：約 9,735,000 円 ※年額は専攻医 1 年目の諸手当を含んだ目安です。 実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数/月	3～4 回
・当直料/回	35,000 円
・その他	
・応募連絡先	担当者 研修管理室 電話番号 0561-82-5101 Eメール kenshu@tosei.or.jp